みんなのひろば

▲今年の元旦、澄み切った空にくっきりと、新年を祝うかのように姿を現した『富士山』。おもわずシャッターを切りました。（市内で撮影）
（写真・文／元町　松宮矩子）

▲６団体が、重松流祭囃子・岩崎能獅子舞などの所沢の伝統芸能のすばらしさを多くの市民に披露しました。「第９回所沢市伝統芸能発表会」　２月14日㈰／市民文化センターミューズ
（撮影：市民カメラマン・八木豪彦）

▲市内の特別支援学級・学校の児童・生徒一人ひとりが心を込めて一生懸命作成した作品が並んだ「第49回ふれあい作品展」。どの作品も個性的で、ぬくもりを感じさせてくれました。
２月２日㈫／市役所１階市民ホール

▼▶元気いっぱいの子どもたちから豆をまかれ、鬼たちは、たじたじになっていました。
２月３日㈬／山口保育園

誰でもエッセイ

◆テーマ「ひなまつり」

三月三日生まれ

西新井町　岩田　美恵

私の誕生日は三月三日です。幼いころ、それを嬉しいとは思いませんでした。三月三日はおひな様のお祝いであり、２つ上の姉も祝われているということが幼な心に不満だったのです。『私だけのお祝いの日』が欲しかったのだと思います。

しかし、長じてみると、「おひな様の生まれなんていいわね」「一度聞くと忘れないね」と言われ、今では三月三日に生んでくれたことを、亡き両親に感謝しています。

お節句と誕生日を一緒に祝い、温かい気持ちになります。

切なく悲しい思い

上山口　山口　満子

昭和20年２月のある日「これ姉さんの、このきれいな顔をしているのは小さい姉さんの、美しいのは私の…」と楽しくひな人形を飾る。父は国へ、兄も軍人で、姉たちは嫁ぎ、ちらし寿司の上手な母と二人で祝ったひな祭り。

それなのに４月の東京大空襲で家と共に焼けてしまった。一つひとつのおひな様には思い出がいっぱいだったのに…。

お米に代わったおひな様

山口　鈴木　満里

三月が近づくと嬉しくて楽しくてひな祭りの歌を唄い、ついにはおひな様を触りまくり、母に叱られても幸せな時代だった。

戦争が激しくなり、空襲に明け暮れる日々、ひな祭りのどころではない。食糧難で、母の故郷山口県萩市へ移住したが、そこでも楽な生活は待っていなかった。私にとって大事なおひな様は、ある農家にいくらかの米、麦等との交換に引き取られて行ってしまった。家族の糊口をしのぐために。子ども心によく分かっていたが悲しかった。

ひな祭りの季節になると、家に行き、そっと横目でひな人形を見ては「私のおひな様、私のおひな様」とつぶやき涙していた。

男のひな祭り

東狭山ヶ丘　町田　寛康

子育て時代は経済的に余裕がなく、私たち夫婦は娘へのおひな様を、まずお内裏様から、翌年に三人官女、その翌年に五人囃子と買いそろえていきました。月日は流れ、二人の娘もそれぞれに嫁いで行きました。

子育てが終わり夫婦二人だけのひな祭りを楽しんでいましたが、その家内も昨年、私が飾ってやったおひな様を、病床の中から眺めたのを最期に逝ってしまいました。

さて、今度こそ始末しようと思いながらも、思い出多いおひな様を捨てることも出来ず、もうしばらくは独り寂しく残されたひな祭り。「男のひな祭り」として、賑やかに飾ることにしました。

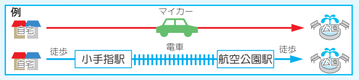
エコ・モビリティでいこう！

かしこいクルマの使い方を考えよう

マイカーは便利で快適ですが、一方で運動不足の要因や渋滞による時間のロス、環境悪化の要因、維持費の負担などマイナス要因もあります。ふだんの生活を振り返って、かしこいクルマの使い方を考えましょう。

◆マイカーを使わない方法を調べよう

休日に所沢航空記念公園へ遊びに行く場合を考えてみましょう。



【マイカーのＡさん】
- 家族やたくさんの荷物を運べて便利
- 周辺道路の渋滞、駐車場待ちで時間やガソリンを無駄に使ってしまう

【電車のＢさん】
- 荷物をコンパクトにする必要がある
- 電車と徒歩なので健康や環境に優しい
- 渋滞や待ち時間が無いので、子どもたちとたくさん遊べる

電車は不便なこともありますが、良い点もたくさんあります。行楽だけでなく、通勤や買い物でもマイカー以外の方法を調べましょう。

◆マイカーの保有コストを計算してみよう

①１年間のガソリン代などの燃料代、②自動車税などの税金、③自賠責保険を含む車検費用・法定点検整備代を１年間に相当した額、④任意保険、⑤駐車場代やタイヤ交換などの整備費、⑥マイカーの購入金額を使用年数で割った金額、以上の①～⑥を足して365日で割った金額が１日あたりの保有コストです。いかがですか、意外と予想以上の費用がかかってはいませんか。例えば、1500ccの乗用車（200万円）を５年間保有し、年間走行距離が約１万㎞、任意保険等を含めると、保有コストは、１日あたり約2000円になるといわれています。

お財布にも、健康にも、環境にもやさしい、皆さんそれぞれの「かしこいクルマの使い方」を考えてみませんか。

問い合わせ　環境総務課☎2998-9133　FAX2998-9394

エコ・モビリティとは、環境にやさしい移動の仕方を意味する造語です。

みんなで止めよう温暖化　チーム・マイナス6%　所沢市は温暖化対策をすすめます

皆さんからの写真や投稿をお待ちしています！

▶エッセイおよび市内で撮影した写真やイラストなどを募集▶写真には撮影日・場所・コメント（約60字）を明記▶エッセイはテーマにそって300字以内▶次のテーマは『お花見』▶文章は添削あり▶締め切りは３月８日㈪必着▶掲載者には記念品を進呈▶投稿写真・原稿は返却しません

◎いずれも住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ〒359-8501並木１-１-１所沢市役所広報課「みんなのひろば」係へ郵送またはＥメール（アドレスhiroba@city.tokorozawa.saitama.jp）でご応募ください。

歴史再発見 ところざわの文化財 ㊶

郷土の刀工 ～平塚寿次～

刀工とは、日本刀などの刀剣を製作する者をいい、刀鍛冶あるいは刀匠とも呼ばれています。所沢出身の刀工としては、幕末の嘉永年間（1848～1855）から明治時代初期にかけて活躍した久米村（現大字久米）出身の平塚寿次がいます。

寿次は、文政10年（1827）に久米村の平塚家、通称鍛冶屋敷に生まれました。平塚家は、古くから刀工を生業としていた伝承と形跡がありますが、寿次を除いては、刀やその他の資料は確認されていません。しかし、一部の刀剣書に「武州久米住人君万歳寿次・江戸住・嘉永」と記載され、寿次は若くして刀工修業のために江戸に出たと推測されます。

現在、３振りの刀や脇差し、１本の槍が所沢市の指定文化財となっています。写真の槍は、存在が確認できる寿次の作品中唯一のもので、茎（刀身の柄に入った部分）には「武州久米住君万歳源寿次」の銘が刻まれています。両鎬造と呼ばれる断面が菱形となる刃部の製作に細やかな配慮がなされています。また、地鉄の鍛錬や刃文の焼き入れにも洗練された技量が認められます。

刀工として幕末の動乱の中を生き、ひたすら刀を鍛えることに情熱を傾けた寿次でしたが、明治９年（1876）３月に公布の廃刀令は、刀工にとって衝撃的な事態でした。その後失意の日々を送った寿次は、明治35年（1902）に76歳で生涯を閉じます。

問い合わせ　文化財保護課☎2998-9253FAX2998-9128

は・つ・ら・つ 野老っ子

おいしく楽しい給食を子どもたちへ

小林　洋介先生（和田小学校）

「いただきま～す！」給食の時間、子どもたちの元気な声が校舎に響きます。埼玉県学校給食調理コンクールで和田小学校の献立は最優秀賞に選ばれました。この和田小の給食シーンをリードする栄養教諭・小林洋介先生をご紹介します。小林先生の取り組みは、学校地域の畑の野菜を使い、教科の学習や季節の行事に結びつく献立を考え、楽しい給食を提供することです。放課後には、地元の畑を歩いて給食に使う旬の食材を探しています。

「地元の農家の方が直接学校へ届けてくださるので、子どもたちとも顔なじみです。子どもたちに農家の方への感謝の気持ちが生まれます。また、農家の方も地元の子どもたちが食べるのだからと、いろいろと気を使ってくれます」と小林先生は食材を地元で調達する効果を語ります。前任校（旧名栗村）でも、地元の山菜や川で釣った鮎、山で捕獲した猪や鹿を給食に出すなど、地元での調達にとことんこだわっていました。

国語で「ごんぎつね」の授業があれば、その舞台になった愛知県のひつまぶしを出したり、社会科で明治維新の授業があれば、西郷隆盛の出身地鹿児島のきびなごを出したりと学習に関連づけたメニューを考えます。２月はバンクーバー五輪にちなみチキンのメープルマリネを食べて日本を応援しました。６月はサッカーワールドカップ開催国の南アフリカの料理のほか、日本と対戦する国の料理も食べる予定です。「ただ食べるのではなく、日本地図や世界地図を掲げ、その国や地域がどこにあって、どんな文化なのか説明します。これは各クラスの先生方の協力があってこそ出来ることなのです」と小林先生は話します。

「所沢のサトイモはたいへんおいしく、別名“黒いダイヤ”といいます。和田小の校章にもサトイモの葉が描かれており、給食に出す“黒いダイヤのクラムチャウダー”は絶品ですよ」と小林先生。このようにユニークな献立名をつけたり、親子で考えた給食メニューを募集したりして、子どもたちの給食への関心が途絶えることはありません。

「食事の時間を楽しく過ごす習慣が、家庭でも、そして将来家庭を持ったときにも続いてほしい」と小林先生は願っています。

▶コック姿の小林先生